

平和祈念事業特別基金の第2期中期目標期間の業務実績評価結果の概要

法人の主要事業である①資料収集、保管及び展示、②特別記念事業、③特別給付金支給事業について成果を挙げており、総合すると、「目標を概ね達成」と認められる。

なお、平和祈念事業特別基金は、平成25年4月1日に解散した。

【業務運営の効率化】

事務室の移転、職員の削減、広報経費削減等により、中期目標を上回る経費総額の削減を達成。

職員の削減等により、中期目標を上回る人件費の削減を達成。

【国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上】

①資料の収集、保管及び展示

平和祈念展示資料館への入館者数はほぼ目標を達成。特別企画展・地方展についても目標を大幅に達成。

②特別記念事業

短い請求期間にも関わらず、積極的な周知や請求者の負担軽減を図り、約31万6千人に慰労品を贈呈。

③特別給付金支給事業

きめ細やかな広報を実施し、法案立案時推計を上回る6万8,847件の認定等を実施。懇切丁寧な説明・請求者の負担軽減を実施。

【財務内容の改善】

運用資金の適正な管理・運用を実施し、運用収入の確保に努めた結果、各年度において予算額とほぼ同程度の運用収入を確保。

不要財産を国庫納付。

【その他】

総務省と連携し、文書移管準備、引継ぎマニュアルの作成、総務省において処理すべき残務の整理・確認、基金記録史・年報等の作成等、解散に向けた取組を実施。

【業務運営の改善その他の提言等】

平和祈念事業特別基金は、平成25年4月1日に解散。

【参考】項目別評価結果

項目別評価	AA	A	B	C	D
1 業務運営の効率化		2	2		
2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	1	15	8	4	
3 財務内容の改善		1			
4 その他		3	1	2	